

## ◆ご寄付をありがとうございました！！

御寄付をありがとうございました！！ 2021年4月～（順不同）

- ・下府中地区民生委員児童委員協議会様 ・心光寺 清水道隆様
  - ・小田原 足柄地域連合様 ・カトリック小田原教会様 ・高田直子様
  - ・富士フィルム労働組合神奈川支部様 ・俺たちのファーム様 ・市川裕之様
  - ・NPO法人報徳食品支援センター様 ・穂坂高久様
  - ・バザー、第3ありんこ販売などでつり銭を御寄付頂いた方々
- ※この他 一品物、古着、布製品、手作りマスク等々ご寄付いただき、バザーや市役所売店、各事業所の売店で販売させていただきました。

## 賛助会員の皆様

2022年3月現在（順不同）

### 【個人会員】

- ・堀口美千子様 ・大木和子様 ・矢吹久美子様 ・香川隆彦様 ・戸田恵美子様
- ・杉本由美子様 ・沖山明子様 ・青木晴子様 ・牧島琳様 ・大村学様
- ・上倉富子様 ・佐藤ミツ子様 ・小坂礼子様 ・間中節子様 ・杉山幸雄様、久恵様
- ・高砂美代子様 ・飯山房治様 ・齋藤英滋様 ・浅野めぐみ様 ・和田雅代子様
- ・山本千紅様 ・栗田勇様 ・加藤由加里様 ・早川範子様

### 【団体会員】

- ・旬工房様 ・(有)立田印刷所様 ・小田原箱根商工会議所様 ・(株)田村商会様
- ・SDA小田原キリスト教会様 ・NPO法人重度身体障害者と共に歩む会様
- ・弁護士法人 小田原三の丸法律事務所様

法人運営のため大切に使用させていただきます。

## 賛助会員募集！！

賛助会費（1年）

- 1) 個人：1口 2,000円（1口以上）
- 2) 法人・団体：1口 5,000円（1口以上）

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。

よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金

記号 10270

番号 15932091

名前 トクヒ)オダワラニジノカイ

### 連絡先

- ありんこホーム（就労継続支援B型）  
小田原市浜町 4-29-1  
TEL0465-24-5486 Fax0465-20-5477
- 第2ありんこホーム（就労継続支援B型・生活介護）  
小田原市扇町 2-31-5 扇町マンション1階  
TEL0465-35-8393 Fax0465-42-9290
- 第3ありんこホーム（地域活動支援センター）  
小田原市鴨宮 3 2 8 TEL/Fax0465-48-8269
- ありんこホームふじみ（就労継続支援B型）  
小田原市南鴨宮 3-6-11 TEL/Fax0465-46-9109
- ありんこホームすまいる（グループホーム）  
小田原市南鴨宮 1-14-27 TEL/Fax 0465-48-5503
- ありんこホームあいらす・なでしこ（グループホーム）  
小田原市鴨宮 522-2  
TEL/Fax0465-46-6427（あいらす）  
TEL/Fax0465-46-6438（なでしこ）
- ありんこホームふれんど（相談支援センター）  
小田原市鴨宮 3 2 8 TEL/Fax0465-48-9095

第305号

令和4年4月1日発行

ありんこだより



特定非営利活動法人  
おだわら虹の会  
TEL.0465-48-8269

ホームページアドレス  
http://www.arinkohome.com/



## ◆新年度に向けて

特定非営利活動法人 おだわら虹の会  
理事長 高橋 直美



令和3年度もコロナ禍のなかで新しい生活様式が示され、メンバー達の生活を守るために戸惑いながらも。現実を受け入れて心の安定を保ってほしいと、不安と共に暮らしている中でも、職員・メンバー達が心を合わせて、活動した日々でした。

施設内作業、余暇活動も制限されましたが、地域社会との繋がりや社会参加を大切にしてきました。どんな状況の中でも、希望を持って、人と人とのつながりを大切に活動している中、数少ないイベントで知り合った矢郷農園様より声をかけて頂き、農福連携での作業が始まり、青空の下での農作業に出掛け、個人、個人の個性を發揮し、メンバーに笑顔がもどってきました、実方ファーム様からも里山の整備作業などをいただき取り組むようになり、そのような関係から桜の若木を20本も寄贈していただき、植樹しました。

あきさわ園様からは、みかんジュース用のみかんの皮むき作業も依頼される等、次々と農福連携の輪が広がっています。

コロナ禍で、日常が大きく変化する中でも、ありんこ力を發揮し活動を続けています。

ありんこホーム以外の施設での作業が増えることで、工賃アップへと繋げ、ありんこも益々繁栄していくよう努力してまいります。

障害を持つ方々の生活に、やりがい、生きがいを感じてもらおう方法を考えながら今年度も、おだわら虹の会ありんこホームは、メンバーひとり一人を大切にしながら、どんな状況の中でもメンバーが地域で安心して、幸せに暮らしていける環境、共生社会をみんなで、作っていきたくと努力し活動してまいります。

### ※今年度の目標

1. 農福連携のネットワークの活用
2. 災害に対する対策（防災についての構築）
3. 感染予防を改めて徹底し、メンバーが元気で通所できる環境設定

### ◆ご寄付をありがとうございます【年末助け合い義援金】

小田原市社会福祉協議会が行った「年末たすけあい義援金」から義援金をいただきました。いただいた義援金で今回は、災害時用のモバイルバッテリー、次亜塩素酸水生成器、ポリシーラー、感染防止用アクリルパネルを購入させていただきました。いつ起こるかかわからない災害に、収束が見えないコロナ対策に、これで少し安心できます。

関係者の皆様、募金をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。



モバイルバッテリー



次亜塩素酸水生成器



ポリシーラー



アクリルパネル



## ❖ 農福連携で新しいお仕事が次々に！！

### ※あきさわ園さん

去年からお仕事を頂いている矢郷農園さんの紹介で、沼代にある「あきさわ園」さんからみかんの皮むきの仕事をいただけることになり、2月から始めさせていただいています。第3ありんこホームの皆は、自主製品のみかんマーマレードを作る工程でみかんの皮むきを行っていたことから、もともとみかんの皮むきが得意なので、みんなで楽しみながら時には皮むきの速さや剥いた皮の長さを競い合ったり、また暖簾を作ったりしながら作業しています。決まった納期で納められるように急ぐ時もありますが、そんな時は理事長も一緒にやってくれるので、利用者のみんなも力が入り新しい仕事に積極的に向き合うことが出来ています。皮をむいたみかんは「あきさわ園」さんでジュースとして加工され、販売されています。

### ※農家カフェ「シエスタ」さん

下曾我の和園の川久保さんを通じて、かなごてファームの「おひるねみかん(ジュースやゼリー)」のラベル貼りの仕事を頂いていたのですが、新しく「農家カフェ シエスタ」さんでの仕事もいただけることになりました。カフェでの仕事は経験のない利用者さんが多いので不安なこともありますが、新しいことにチャレンジしたいと言っている利用者さんと一緒に、楽しみながら頑張っていこうと思います。農家カフェ「シエスタ」の責任者でもある小山田さんは、環境や福祉のことを考え実行されている、偉大な方で何度かお会いしているのですが、毎回力強いパワーを感じています。小山田さんから一言ありんこにメッセージを頂きましたので、ご紹介します。『農業と自然エネルギーを組み合わせるソーラーシェアリングや農家カフェシエスタ等を展開する小田原かなごてファームを運営しています。農福連携や食エネ福祉経済自給圏を作る動きの中でありんこさんと提携してまいります。よろしくおねがいします。』



## ❖ コロナに負けるな！！ワクチン接種（3回目）

～マナクリニック様ご協力のもと～

新型コロナウイルスの感染拡大も、収まりつつあったのですが、今年に入り変異株の影響で再び広がっています。感染防止などの対処はしているものの、まだまだ終息には至らず、神奈川県、特に小田原市では感染者が減少していきません。

そんな中小田原市でも3回目のワクチン接種が始まり、1・2回目の接種で大変お世話になった、「マナクリニック」様より今回も「予約が取れないで困っている人がいるようなら協力しますよ。」というありがたいお声掛けをいただき、2月25日にワクチン接種を接種券のある15名(主に高齢者)の方が受けました。さらに3月25日(金)にも希望者20名が接種を受けました。

これで感染リスクはかなり少なくなり、ひとまず安心ですね。前回に続き今回も素早い対応をしてくださったマナクリニック様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました



## ❖ さねかたファームさんからの寄贈の「桜の若木」を植樹

3月10日に南足柄市にある南足柄市弘西寺の里山「さねかたファーム」さんからの寄贈された桜の木「コシノヒガン」若木20本を植樹させて頂きました。



桜の若木は、ファームを運営している實方正弘さん、景子さんによる「花咲く里山事業」の共同事業者、草柳茂さん(真鶴町)が2年間かけて育てた桜の若木を寄贈して頂いたものです。



實方様(左)と高橋理事長(右)

さねかたファームさんには、メンバーが日ごろから維持管理などに協力させて頂いております。このようなご縁の中、桜の若木を寄贈して頂き里山整備地内に植樹し育てていきたいと希望しました。「メンバーと職員で大事に育て、春には美しい花を咲かせ、地域の中で『ありんこ力』をアップさせる元気の源にしたい」と植樹させて頂きました。

さねかたファームさんには、今年に入り週3回ぐらいのペースで、各回4人ほどのメンバーが職員とともにファームの整備に参加し、枯れ枝や枯葉の清掃、運搬などに従事してきました。1日2時間程度の作業に対し、運営している實方さん夫婦からメンバーに報酬を頂いております。その気持ちはメンバーに対し、きちんと仕事として参加してもらうことが「農福連携」と「共生社会の実現」につながると考えてくださっています。



植樹を通しての願いや経験、作業する場を提供してくださりありがとうございます。

青空の下での農作業にはメンバーが喜んで出かけ、コロナ禍で少なくなっている笑顔が少しずつ戻ってきています。これからも人とのつながりを大切に、地域との共生を目指していきたいと思っております。



## ❖ グループホームでの消火訓練等の避難訓練について

グループホームでは、3月に消火訓練等の避難訓練を、あいりす・なでしこ及びすまいるにて行っています。この訓練は、半年ごと定期的に行っています。

あいりす・なでしこは、3月10日、すまいるは、3月17日それぞれ夕方、業者さん立会いの下で行いました。世話人さんの指示も的確で、入居者さんもスムーズに避難できていました。

